

## 事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 26年3月31日

2次評価日（課長等） 26年3月31日

1 事業名	中小企業金融対策事業	コード	11307
-------	------------	-----	-------

2 担当部課	部等 経済部	課等 工業振興課	作成者 真田 健
--------	--------	----------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち		
		政 策	基幹産業の振興	施 策	工業の振興
		予算科目	中小企業金融対策事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）
事業の概要 （簡潔に）	中小企業の事業資金の円滑な調達により、経営の安定化を図るために、企業の事業拡大に寄与する。	
目的	対象者	市内中小企業、金融機関
	意 図	円滑な経営を図る

5 事業の実施内容		*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容
<p>事業資金を必要とする市内中小企業に対し、個々の事業に即した相談・指導を行い、審査のうえ低利な市・県制度資金のあっせんをした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市制度…334件</li> <li>・県制度…62件</li> </ul> <p>市内企業のニーズの高い「経営安定資金」の融資対象条件の緩和により、新たな借入や借換をやすくし、市内企業の経営安定に努めた。</p> <p>金融円滑化法が終了したことに伴い、企業経営に支障をきたす恐れがあるため、「経営サポート借換資金」を創設し、市内企業の経営安定に努めた。</p>		
前年度の課題への対応	経済状況に応じた市制度資金の見直しを行った。	

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	23年度	24年度	25年度	26年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	あっせん、認定件数			単位	件
	実績値	519	395	396	
	*指標の説明	事業資金を必要とする中小企業への融資あっせん件数			
② 成果指標（指標名）	融資金額			単位	千円
	目標値	4,413,838	4,368,782	3,415,833	2,725,339
	実績値	4,368,782	3,415,833	2,725,339	
	達成度	99.0%	78.2%	79.8%	
	*指標の説明	あっせんした制度資金の融資額			
*目標値の設定方法の説明	前年度実績				

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	1,650,712,000	1,953,412,000	1,880,959,872	1,984,873,000
経常経費	1,650,712,000	1,953,412,000	0	60,000
臨時的経費	0	0	1,880,959,872	1,984,813,000
* 臨時的経費の説明	保証料補給金、利子補給金			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	9,200,000	9,200,000	9,200,000	9,200,000
正規職員の人数(人)	1.15	1.15	1.15	1.15
③ 合計コスト(①+②)	1,659,912,000	1,962,612,000	1,890,159,872	1,994,073,000
前年度比		118.2%	96.3%	105.5%
財源内訳				
一般財源	1,659,912,000	1,962,612,000	1,890,159,872	1,994,073,000
特定財源	0	0	0	0
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	3,198,289	4,968,638	23,232	
前年度比		155.4%	0.5%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
県・市制度資金保証料補給金	件数	519	395	395	
	金額	131,223,904	78,729,834	72,382,441	112,588,000
市制度資金利子補給金	件数	677	674	924	
	金額	19,763,554	27,595,984	29,949,751	40,250,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	150,987,458	106,325,818	102,332,192	152,838,000
	割合	9.15%	5.44%	5.44%	7.70%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 79.8%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 79.8%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	<p>(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)</p> <p>経済状況の変化による企業ニーズにあった市制度資金の見直しも課題である。 また、経営改善の支援も必要となるため、各金融機関と連携した取り組みが求められる。</p>	
改善方法	<p>(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <p>市内金融機関との情報交換や企業訪問等の聞き取りによる市制度資金の見直し</p>	
	改善開始時期	平成26年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---